

# 屋外用ホスクリーン 施工要領

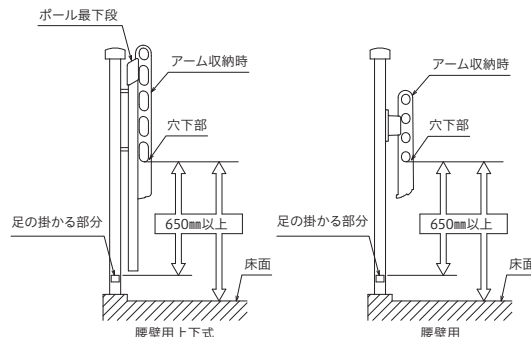
取付けは、製品の落下や事故を防ぐために、建築構造を理解されている方が行ってください。

## 腰壁用上下式 LP型/EP型/EPL型/GP型/GPL型/DS2型 腰壁用 HC型/HD型

### 1.取付ける高さについて(安全性の確保)

ベランダの腰壁や手すりに取付けるタイプの物干は、お子様がよじ登って転落するなどの事故を避けるため、設置高さにご注意ください。特に収納時の竿の位置については注意が必要ですので、右図をご参照ください。

- 収納時の竿高さ650mmは最低基準です。800mm以上確保できるとより安心です。
- スライド収納式のDS2型は、竿2本とも最上部(元々の手すりレールの高さ付近)に収納されますので、もっとも安心です。
- ポールで上下するタイプ(LP型/EP型/GP型)については、取付け後でも竿の収納位置を上げることができます。



### 2.取付ける幅について

2本の物干を取付ける間隔については特に決まりはありませんが、取扱いのしやすさを考慮すると、1.8~2.4m程度の取付間隔をおすすめします。

※入手が容易な市販の伸縮式竿(1.7~3.0m)にマッチする取付間隔です。  
当社製「竿止め金具付物干し竿」をご使用の場合の物干設置間隔については、P.94をご参照ください。  
また、竿の両端が出る分だけ物干の両外側にも余裕が必要です。  
(腰壁が入り隅となっている場合にはご注意ください)

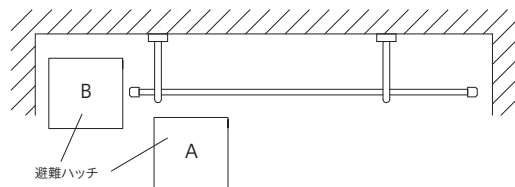
### 3.竿止めの使用について

腰壁側で使用する物干は、強風にあおられるなどの万一の事故により竿が抜けてベランダ外に落下すると非常に危険です。市販の竿止めまたは当社製「竿止め金具」をご使用ください。→P.94

### 4.集合住宅などで避難ハッチがある場合

避難ハッチ上に物干本体及び竿がかかると、避難の妨げとなる恐れがあります。

- HD-35型/EP-45型/GP-45型などの、壁からの寸法が小さい製品をお選びください。  
(避難ハッチの位置Aに対応)
- 竿が横にずれてハッチにかぶさらないよう固定したい場合には  
当社製「竿止め金具」が有効です。  
(避難ハッチの位置Bに対応) →P.94



### 5.物干を3本一組で設置する場合の注意点

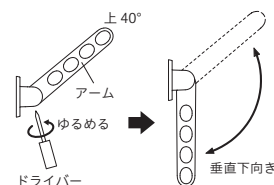
物干を真ん中にもう1本追加して取付けるケースがあるようですが(竿間隔が長いのでたまたまに…など)、そうした設置方法では製品が使いづらくなる場合があります。この場合は物干2本セットに短い竿を挿したものを2組設置の方が本来の性能を発揮でき、快適に使用できます。

## 窓壁用 RK型/HK型/HKY型/HKL型/EK型

### 1.取付ける高さについて

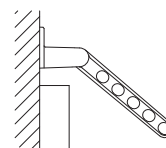
窓側の壁に取付ける製品です。竿が175cm程度の高さになるように設置すると、身長145cmの方でも容易に手が届きます。また、取付け後も角度調整による竿の高さの変更が可能です。(EK型を除く)  
使う方の身長にあわせて設置する場合は、身長+30~35cmの高さを目安とください。

- HK型・HKY型・HKL型はアームを垂直下向きにするためには右図のように上40°にセットして、アーム下側の穴からドライバーでネジを約9回転ゆるめてください。



### 2.窓上に設置する場合

物干のアームを斜め下にした状態で使いやすい高さとなるサイズをお選びください。  
戸袋やシャッターなどの出っ張りが大きい場合には、右図のようなロングベースタイプ(HKL型)が適しています。



### 3.腰壁側への設置禁止

窓壁用物干をベランダの腰壁・手すり側に取付けると、物干アームを斜め下にした場合や収納時に竿位置が低くなり、お子様がよじ登って転落するなどの危険性がありますので絶対におやめください。

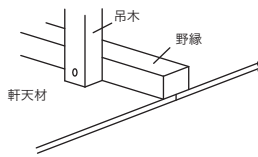
## 軒天用 ZA型/ZAN型/Z型/ZP型

### 1.取付下地について

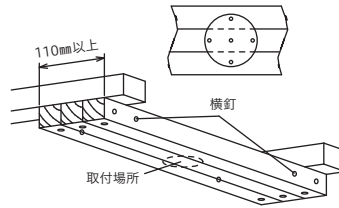
#### 【木製野縁の場合】

- 下向きの荷重に対して吊木などで補強してください。
- ネジ止めのために必要な下地の幅は製品により異なりますので、下図を参照してください。

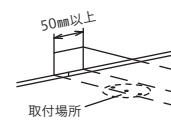
#### ZA・ZAN・Z・ZP型 【吊木による補強】



#### Z型 【野縁の幅補強例】



#### ZA・ZAN・Z・ZP型 【野縁1本に取付ける場合】



ネジの締め付けにより割れなどが起こらない幅が必要です。



#### 【軽天材の場合】 ZA型/ZAN型/Z型/ZP型

- 軽天材に直接取付けることはできません。木下地を作り、【下地が木製野縁の場合】と同じ補強を行ってください。

### 2.取付方法について

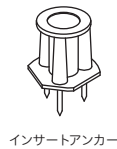
#### 【金属垂木の場合】 ZA型/ZAN型/ZP型

- 金属垂木に取付けるためのパーツ(HP-16)を用意しています。

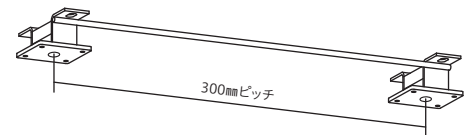
#### 【コンクリートの場合】

カットアンカーなどでの後付けはできません。

- 市販のRC用インサートアンカーをご使用ください。  
Z-207型/Z-215型/ZP-207型は市販のRC用ダブルインサートアンカーへの取付けが可能です。
- Z型は市販のRC用インサートアンカーとZRC金具(P.88)をご使用ください。



インサートアンカー



ダブルインサートアンカー

## 軒天用 SPO型

### 1.ベースの取付位置について

SPO型は吊り下げたポールがフリーに可動します。

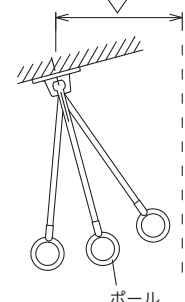
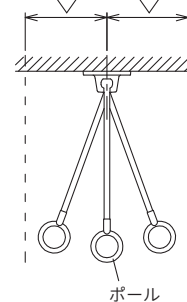
商品取付けの際は、壁面やガラス面に当たらないよう、右表の寸法以上離れた位置にお取付けください。

(特にガラスなどがあると、ポールが当たって破損する恐れがあります。)

※ポールのサイズや天井の角度により、寸法は異なりますので、取付ける前に実際にポールを動かし、周辺に当たらないことを確認してからお取付けください。

※15°までの傾斜天井に取付けできます。

	水平天井		傾斜天井	
SPO-S ポール	330mm	330mm	500mm	
SPOL-S ポール	400mm	400mm	600mm	



### 2.取付方法について

#### 【コンクリートの場合】

- 市販のM6オールアンカー(全長45mm、ネジ長さ15mm)をご使用ください。

室内用  
ホスクリーン

室内用  
物干し竿、  
専用フック

スポット型

昇降式  
(操作棒タイプ)

昇降式  
(操作リモタイプ)

窓枠付

施工要領

屋外用  
ホスクリーン

腰壁用  
上下式

腰壁用

窓壁用

軒天用

軒天用  
スポット型

自立型

高耐食性、  
竿止め金具 他

施工要領

目安重量、  
価格表

屋外用  
物掛け金物  
フリーアーム